

第31回 おとなとこどものつぶやき

令和6年度(2024年度)

保育者が子どもの時の自分の気持ちを思い出して
つぶやきを書いてもらいました。

大人から言われたことや関わりを、自分はどう
受け止めてきていたのでしょうか?
大人にとっては、些細なことでも、
子どもにとっては、傷ついたり嬉しかったり、
心に残っているものはたくさんあります。



こっちがいいって言ってたら 3歳児

家でお箸を使ってご飯を食べるときに私は左手でお箸を持っていた

おじいちゃん えり、箸は右手や
そっちは左手だからお茶碗もつ手やで、

持ち替えなさい
これでいい?

おじいちゃん そうや こっちや 覚えときや

えり

私自身、父は大好きでしたが、お箸や鉛筆を左手で持っていた時にすぐに直されるときは、怖いなど感じていて、右手でお箸を持って食べにくいなと思っていましたが「イヤや」と言えずに育ちました。あの時に、「こっちがいい」って言ってたら、両方の手が使えるようになっていたのかなと感じています。

これはダメです 5歳児

保育室で、担任の先生がクラスの数名を呼び、みんなの前に立てて靴下のはき方について説明した。

せんせいに名前を呼ばれてうれしく思い、みんなの前に立っている

保育者 「これはダメです」
(私の靴下を指しながらみんなに説明した)

子どもながらに恥ずかしいような嫌な気持ちを覚えている。
嫌な気持ちはあったが、親や先生に伝える方法は思いつかず、そこまで傷ついた記憶はないが、今でも覚えているということは、言葉に出せなかっただけで、傷ついた場面だったのかなと思う。

うんどうしんけいが にぶい 小学生

運動会前などに母は私の前でほかの人に話していた。

母 運動神経が鈍いから
私 (私は運動神経が鈍いからダメなんだ…。かけっこをしても速く走れないんだ…。)

子どもの時に周りの大人からかけてもらう言葉を大きくなってしまっているものだと思います。逆に良いことを言われ続けていると、私は〇〇なんだと思い、自信をもって取り組んでいたかもしません。小さい子に対してわからないだうと思って、否定的なことを目の前で話すのもよくないと、大人になって思いました。

ねこの役 5歳児

拳手で劇の配役を決めているとき、本当は「ねこの役」をしたかった。でも、友達に合わせて違う役に手を挙げてしまった私。

保育者 さりちゃん ねこの役をやってみない?
さり いいよー(やったー)

当時はラッキーとしか思っていなかったのですが、よくよく考えてみると私が友達の意見にいつも合わせてることがわかつていて声をかけてくれたのかな?よく見てもらっていたんだと改めて思い出し、嬉しくなりました。

身長高くないとダメなの? 5歳児

運動会の鼓笛隊で何をしたいかクラスで決めている時

ななこ フラッグしたい

保育者 ななこちゃんは身長が高くないからできないよ
ななこ (なんで身長が高くないとダメなんだろう…
やってみたかったなあ…)

兄の影響で鼓笛隊のフラッグにあこがれを持っていた私にとって保育者の「身長が高くないから」という一言でとても悲しくなりました。「なんで?」と聞けずに、その時はただ「できない」ことだけを伝えられました。自分が保育者になり、子どもの気持ちに寄り添った発言をしないといけないといました。

えっ? 小学生

遠足の自由遊びの時、クラス全員で鬼ごっこをしようということになり、私はすぐに逃げ始めた。私のすぐそばで走りかけていた担任の先生と逃げたくて手をつなぎに行った時。

先生 (すぐに手を払いのける)

えっ

(また、手をつなぎにいくが払いのける)

わたし 私のことが嫌いなんだな…

ということがこの時わかりました。でも、それと同時に私は大きくなって、子どもが手をつないで来たら絶対に離さないと決めました。その思いはずっと今でもあり、子どもがそっと手をつないでくるたびに、しっかりと握りなおしています。



かい

だい

第31回

おとなとこどものつぶやき

令和6年度(2024年度)

保育者が子どもの時の自分の気持ちを思い出して
つぶやきを書いてもらいました。

大人から言われたことや関わりを、自分はどう
受け止めてきていたのでしょうか?
大人にとっては、些細なことでも、
子どもにとっては、傷ついたり嬉しかったり、
心に残っているものはたくさんあります。

保育者の不適切な関わりが問題になっていますが、子どもが思っていることとそれ違う、うまくキャッチできない、子どもの思いよりも大人の言うとおりにすることがいいことだと思っていたら、不適切な関わりにつながることもあると思います。だから、実際の子ども達の「つぶやき」に耳を傾けるとともに、大人も子どもの頃に思いを馳せてすることで、気づかされることが多いのではないでしょうか。

『保育者が子どもの頃のつぶやき』と『子どもの周りの大への思い』
ひとつにしてリーフレットにしました。



あなたの、子どもの時のつぶやきはありませんか?
嬉しかったこと、いやだったことなど

子どもに返って思い出してみてください。

子ども達は、日ごろから友達や大人と関わって遊び、生活する中で
“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”
“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など
様々なことを感じ、表現しています。
このような子ども達の「思い」を表現したものを言葉だけでなく、
しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」として
とらえています。



いたい いたい ねー 3歳児

おやつの片付けをしていて、机に足をぶつけた時、ぶつけたところを心配そうに見つめて
り お いたい いたい なったの? だいじょうぶ?
りおちゃんもおなじところ いたいいたい なったー
ここといっしょ
(園では、いつも、子どもがけがをした時に、トランシーバーで
別の部屋にいる看護師を呼んで見てもらうので、ブロックで
トランシーバーを作り、看護師を呼ぶ真似をする)
り お (看護師になって)
ここに ばんそうこうを はりますねー

いたいの とんだけ～

保育者が机に足の指をぶつけた時
保育者 いたた～
しんじ (保育者の顔を覗き込む)
足をぶつけちゃった～ いたいよ～
いたた・・・ (まゆを寄せて痛い顔)
いたい いたい つけ～
(保育者の足をポンとして“いたいの とんだけ～”を
してくれる)
保育者 わ～ しんじくん ありがとう
いたいの とんでいったわ～

いつもなら本児がしてもらっていたことを、保育者にする姿が
ありました。普段の関わりを心地よく感じていた様子が伝わって
きました。

ママが おこらんかったら へいわ

平和の集いの上総会のあと、平和の木のメッセージを親子で書き、
それを貼りながらの会話

ひでの母 平和ってどんなこと?
ひでき ママが おこらんかったら へいわ
ひでの母 それ書いたら よかったやん



せんせい いつも いってるのになあ

保育者が、保育室の棚にぶつかってしまう

保育者 いたい!
あやと せんせい だいじょうぶ?
子ども達 だいじょうぶ?
保育者 だいじょうぶだよ
ちなつ よかったね

そ ら まえみて あるくよって いつも いってるのになあ
かえで 「いたっ」って いってたなあ
(保育者に聞こえないように話していた)

ひ ごろから 子どもに言っていることは、自分でも気をつけないと、と
思いました。

3歳児



ん!

0歳児

夕方、保育室で遊んでいる時。
めいが棚に片づけていたおんぶひもを取り出す。

(じんをおんぶしている保育者に)

めい ん!

保育者が反対をおんぶしている姿を、めいはしっかり見ていて、自分
もおんぶしてほしいことを行動としぐさで伝えようとしていました。

にこにこ

保育室で自由遊びをしていた時

のぶ せんせい きょうなんか にこにこ
保育者 そう? いつも通りだけどな～
のぶ せんせい にこにこのほうが のぶはすき!
保育者 ありがとう!

のぶが保育者の表情をよく見ていることに改めて気づき、ひごろの
声のかけ方や表情を考え直すきっかけになりました。

4歳児

ここに紹介している「つぶやき」は、
「令和6年度(2024年度)子どものつぶやき展」
で展示している「つぶやき」の一部です。

5歳児

なんでせんせいは あらわないん?

外遊びの後に、たらいに張った水で足を洗っている子ども達。
その様子を見守っていた時。

こうた せんせいも いっしょに そと いたやろ
保育者 そうだね
こうた なんでせんせいは あらわないん?
そと いたんやから あし あらいや～

おまえって

寝覚め前、みんなで絵本を見ようと集まつた時
狭い場所に割り込んできた反対に

ともや おまえ せまいやろー
保育者 お前って呼ばれたら いやな気持ちだよ
ともや 名前がみんなあるから 名前で読んだらいいと思うよ
おとうさんも おかあさんも ぼくのこと
“おまえ”ってよぶ おばあちゃんも・・・
ともや おまえって言われるのいやだったら
お父さん お母さんに 言ってもいいんだよ
わかった
ともや 自身も いやなんだなあと感じた出来事でした。

4歳児



もうちょっと やさしく

保育者が他児を叱っている時。
その様子を見ていた きょうすけが、そっと保育者に伝えに来た。

きょうすけ もうちょっと やさしく
(保育者のところに来て 耳元で)
保育者 わかった ありがとう

4歳児

